



坂戸市立入西小学校

につさい

【校訓】 自ら

【学校教育目標】

- ・考える子
- ・思いやる子
- ・げんきな子

令和7年6月25日発行 第4号

「学び合い 関わり合い 高め合いの『あい』があふれる学校」を目指して

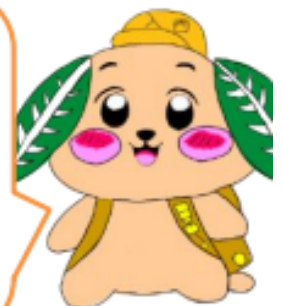
6月は個人面談や引渡訓練で学校に足を運んでいただき、大変ありがとうございました。個人面談では、お子さんのことを話の中心に据え、家庭と学校とが情報を共有する貴重な機会だったと思います。今後も学校と家庭が一緒になって、お子さんを見守っていく関係でありたいと思っています。本当にありがとうございました。

学校では運動会も終わり、6月はこれまでの「学校行事モード」から「授業充実モード」に切り替わり、子どもたちは授業を**一所懸命**に取り組んでいます。4年生の総合的な学習の時間では、たくさんの地域の方のご協力をいただきながら、6月5日（木）に無事に田植えを行うこともできました。また、昨年度から始まったスウィン坂戸スイミングスクールを利用した水泳学習も、1・6年生で始まり、子どもたちはきれいな施設の中で元気に泳いでいます。そして、もちろん日頃の授業でも入西小では「学び合い 関わり合い 高め合いの『あい』があふれる学校」を目指し、子どもたちも先生も頑張っています。私は、紙と紙を張り合わせるときに「のりしろ」という重なりがあることで紙が頑丈になるように、人間関係も関わり合っこそ、より強固なものになっていくものだと思っています。仲間や先生、教材と関わり合うことで分からなかったことが分かるようになり、きっと子供たちは授業が楽しくなると思っています。

運動会も一段落した今だからこそ、学ぶ喜び、わかる喜び、できる喜びを授業で目いっぱい味わってほしいと思います。

公表は控えさせていただきます。

6月のお話朝会では、「一所懸命」と「一生懸命」のお話をしました。ここではあえて「**一所懸命**」を使い、子どもたち一人一人が、自分が生活する場所で役割を責任もって取り組んだり、積極的に参加したりすることができる、入西小学校がとても良い学校になると話しました。



体験活動いっぱい 学びあふれる 田植え体験（第4学年）

6月5日（木）に第4学年の159人が県産ブランド米「彩のきずな」の田植えを行いました。水稻農家の根本英二さんの指導のもと、地域や学校ボランティアの皆様、保護者の皆様に多くのご協力をいただき、4月の種まきから約1か月かけて丁寧に育てた元気な苗を一人一人が一生懸命に植えることができました。

このカリキュラムは、第4学年の総合的な学習の時間に位置づけられ、本校が大切にしている特色ある教育活動の一つです。田植えだけではなく、田んぼでのレンゲソウ遊び・種まき・代掻き見学／田んぼ遊び・稲穂観察・稲刈り・脱穀見学等、様々な体験活動が計画されています。1年間で子供たちは、「気づき」「新たな発見」「地域との関わり合い」「感謝の心」等、体験活動でしか味わえない実感を伴った理解を通して学びを深めていきます。

7月下旬から8月上旬には、稲の開花（出穂）が見られます。開花は晴れた日の午前中に数時間程度で、なかなか見ることができませんが、夏季休業中にご家庭で見に行かれてはいかかでしょうか。貴重な開花の瞬間に出会えるかもしれません。

公表は控えさせていただきます。

種まき体験

代掻き見学/田んぼ遊び

田植え1

田植え2

スクールロイヤーによる授業「いじめ防止」

6月12日（木）に第5学年で坂戸市のスクールロイヤー 渡邊 祐樹弁護士を招聘し、「いじめ防止」の授業を実施しました。授業の中では、「言葉には受け取り方・感じ方の違いがあること」「いじめを解決方法にしないこと」「相手の気持ちをわかることの大切さ」等、具体的な事例をもとに、いじめ防止のための様々な視点を示してくださいました。

公表は控えさせていただきます。

児童はいじめに対して自分ができることを考えながら学習をし、「いじめは絶対にしてはいけないこと」や「許してはいけないこと」「いじめを許さない雰囲気をつくることの大切さ」を理解することができました。

◆◆◆◆◆ 7月の学校行事予定表 ◆◆◆◆◆

公表は控えさせていただきます。